

互いに学び合いながら，科学的根拠に基づいて

考えることのできる授業づくりに関する研究

—協働学習とプロセス・スキルの理論を活用して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 理数・自然科学系（理科）

川瀬 貴恵

本研究では，中学校理科において，「協働学習」と「プロセス・スキル」の2つの理論を活用して，互いに学び合いながら，科学的根拠に基づいて考えることのできる生徒を育成する授業づくりを目指した。

協働学習の理論を取り入れた授業を行うことで，学習活動に対する生徒の姿勢が能動的になり，生徒同士が話し合ったり協力し合ったりしながら，互いの学びをより充実させようとする姿勢の変容が見られた。事前・事後に行ったアンケート調査の結果からも，互いに学び合う姿勢が高まったことが示唆された。

また，プロセス・スキルの理論に基づき，観察・分類・グラフ・コミュニケーションのスキルの育成を図る授業を行った。各授業後に行ったアンケート調査の結果，科学的根拠に基づいて考える土台となる，それぞれのスキルの育成を図ることができたことが示唆された。

以上のことから，2つの理論を活用して，互いに学び合いながら，科学的根拠に基づいて考えることのできる生徒の育成を目指す授業づくりを行うことができた。